

# 1年目の金ヶ崎町

授業以外での英語活動も大切だと考えます。私は、他の授業や校外活動に参加するのがとても楽しみです。授業の中の学習という形でなく、自然に私を通して、英語に触れることができるからです。たとえば、校外学習に参加して際に、よく英語で何と言うかきいたり、教えたり、似ているものや違いを話したりします。子供たちの興味関心を中心に英語で話しかけることによって、英語をもっと楽しく学んでくれると思います。



子どもたちに人気のゲームを紹介します。写真は、4年生がジェスチャーゲーム“*How are you? I'm happy. I'm hungry. I'm sleepy.*”をしているところです。ジェスチャーゲームや歌は、楽しみながら英語を学べます。



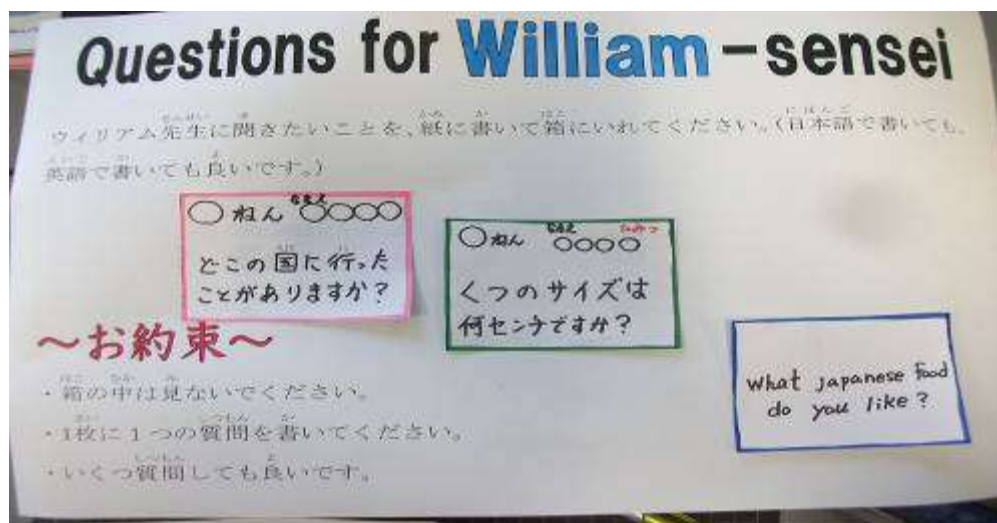
幼稚園では、ゲームや歌、ジェスチャーなどを日常の園児の活動で取り入れられます。



ジェスチャーゲームをしていると、子どもたちは、“How do you say OOO in English?”と聞いてきます。子どもたちが表現したい内容を英語で教え、それを加えることで、“How are you?”ジェスチャーゲームは最初 4, 5 パターンのジェスチャーしかありませんでしたが、今では、10 パターンに増えました。子どもたちによって、ゲームの内容がどんどん膨らんでいくのは、とても素晴らしいことです。







質問は、学ぶ上で欠かせないものです。授業の終わりで質問タイムを設けていましたが、すべての質問に答えることができないので、質問箱を作りました。生徒は質問を書き、箱に入れます。授業の最後で、その質問に答えます。質問の答えを廊下にも貼ってありますので、誰でも、見ることができます。

6月に行われた5年生のキャンプは、良い思い出です。初めて青少年の家に行きました。5年生の生徒と一緒にマカレナを踊ったりして、とても楽しかったです。マカレナはとても人気なので、学校の最終日にも踊ってくれた児童もいました。



園児たちと一緒にマスコットのワケルマン、ゴミラ君、アース君、パーラちゃんに会えました。アメリカでも、似たようなマスコットはありますが、絵やマンガです。日本のように着ぐるみのマスコットに実際に



会えるのは、いいアイデアです。



私はウクレレができます。幼稚園や小学校で、ウクレレを演奏したりもします。6年生の“I can  
OOO,”授業で ウクレレを演奏しました。生徒に先生のできることを知ってもらうのも、良いとこだと思います。たとえば、下の写真の中で、白石先生がギターを弾いています。私も、ギターの練習中なので、よく間違えます。私の失敗を見て、子どもたちに間違えても大丈夫だと感じてもらい、諦めずトライしてもらいたいです。



日本人の先生が英語の授業をすることも大切だと考えます。難しいと思われることでも、先生ができる  
ところ、間違えや失敗をしてもあきらめない姿勢を子どもに見せることは大切なことです。





外で遊ぶことは楽しいです。子どもたちと一緒に触れ合うことで、距離も縮まり英語を受け入れやすくなると思います。生徒や先生方とのコミュニケーションを大切にしています。





町の劇に参加しました。素晴らしかったです。中学生や自分が教えている生徒、役場の方がなどと交流できるよい機会でした。



中学生はアメリカのアマーストでのホームステイに参加するため、2日間英語でのセミナーがありました。使えるフレーズを教えたり、ポスターを作ったりしました。





小学校では、スペシャルプロジェクトを行いました。子供たちの夢の時間割を作成したり、デザート  
の絵を描いたりしました。







All of you have made 2013-2014 special to me, thank you very much!  
みなさんのおかげで素晴らしい1年でした。ありがとうございます。